

★ “おの100”（おのみち100km 徒歩の旅）について

【事業趣意書】

昨今の事件に見られる凶悪犯罪の低年齢化、また、青少年を巻き込む犯罪の多発、あるいは、教育界を取り巻く状況は、“国家百年の計”と言われる中において、教育の原点である家庭教育を再考する必要性に迫られています。

そして、少子化、核家族化の中で、より一層重要になってきた地域の教育力の回復に努め、家庭・学校・地域がしっかりと協働して、次世代の子どもたちの為に行動することが求められています。

また、地域主権の流れの中で『自分たちの地域（まち）は自分たちで創る』という意識を持って、私たち一人ひとりが何が出来るかを考え、行動を起こすことが必要です。

青少年健全育成を掲げて平成15年に始まった「おのみち100km 徒歩の旅」は多くの子どもたち、学生ボランティア、保護者の皆さまの支持を得て、更には、地域の方々のご理解・ご協力をいただき、昨年度、第20回という大きな節目を迎えることができました。誠に有り難うございました。

本年度は心を新たに下記のとおり、「第21回おのみち100km 徒歩の旅」として、実施させていただきます。

子どもたちは素晴らしい潜在能力を持っています。

自分たちの住んでいる地域を4泊5日を掛けて歩き抜くという実体験を通じて、少しでも「生きる力」を宿してもらいたいと思います。誇りある郷土に触れながら、忍耐力、積極的な行動、感謝の気持ち、出会いの素晴らしさ、夢を持つことの大切さ、自然との共生、挑戦する勇氣、等、多くのモノを体感し、さまざまな学び・気づきを得てもらいたいと思います。

ボランティアとして参加する学生にも、自分自身の学びを以って自分以外のものに貢献するという生涯学習「やりがい・生きがいの創造」を提起し、青少年問題の解決への一歩を踏み出したいと思います。

【事業趣旨】

- ① 青少年健全育成（体験学習）
- ② 生涯学習「やりがい・生きがいの創造」
- ③ 市民参加の「ひとづくり」
- ④ 地域コミュニティの活性化

【5日間の様子】

《限界への挑戦》

夏の炎天下、毎年100名（本年はwith コロナにより80名）の子どもたちが、100kmという長い道のりだけでなく、自分自身の限界に挑戦する、言わば限界への挑戦の旅に出発します。

最初は引込み思案な子どもも、3日目あたりからは班に溶け込み笑顔で歩きます。

足の痛みに耐え切れず遅れがちになる子どもも、4日目あたりから歯を食いしばって班の仲間と一緒に歩きます。

学生ボランティアが傍に付いていないと甘えて遅れ気味になる子どもも、4日目くらいから一人で歩くようになります。

そして、徐々に、高学年の子どもたちを中心に、中学年や体力・精神力の弱い子どもたちを励まし、指示を与え、自分たちだけで行動する姿が見られるようになります。

子どもたちの潜在能力の高さを再認識すると共に、子どもたちの限界を勝手に決めているのは私たち大人であることを痛感する5日間です。

《非日常的な生活》

宿泊は、学校や公共施設の体育館。

日頃、エアコンの効いた快適な部屋で就寝する子どもたちにとっては、信じられない環境です。

当然、テレビもありません。また、日中飲めるのは“水”だけです。

冷蔵庫の冷えたジュースが当たり前の子供たちには、まさに“非日常の連続”です。

しかし、そうした“できるだけ不自由な体験”を通して、子どもたちは感謝の念を覚えてくれます。物質的に豊かな時代に育った子どもたちにとって、無いのが当たり前の旅は“有り難い”ことを体感する貴重な体験となり、自分を支えてくれる人や有形無形の物に対して、自然に感謝の言葉が出るようになってきます。

★保護者の皆さまへ

“親が変われば、子どもが変わる”

“おの100”は子どもだけを5日間参加させる事業ではありません。

参加小学生の保護者の皆さまにも保護者説明会、保護者事前研修会、結団式、解団式、事業報告会の5つの行事に参加していただきます。

子どもたちと共に保護者の方にも多くの学びや気づきを得ていただき、今後の子どもたちの成長を見守っていただければと思います。

共に感動し、共に成長しましょう！

★よくある質問です！

【Q.】コロナ対策や熱中症は大丈夫でしょうか？

【A.】コロナ対策はさまざまな場面を想定し、対策を練っています。

また、熱中症対策として、三度笠を被り直射日光を避けたり、通常15分に一度の給水を行ったり、約1時間毎にある休憩箇所では氷水を後頭部に掛ける等、他にも様々な対策を取っています。

【Q.】食物アレルギーがありますが、食事はどのようになるのでしょうか？

【A.】事前に健康状態確認表を提出していただき、その中でリサーチさせていただきます。

必要であれば、個別に面談をさせていただきながら、除去食を調理したり、調理パンを塩むすびに変更したりして対応します。

【Q.】これまでに参加した子どもさんの保護者の方の感想はありますか？

【A.】おのみち寺子屋のHPに過去の保護者アンケートが載っています。

【保護者アンケート】

【保護者からのお手紙（抜粋）】



【Q.】親としては是非、参加させたいのですが、子どもが乗り気でなくても大丈夫でしょうか？

【A.】実際に参加すれば、乗り気でなくても多くの子どもさんは5日間で大きく成長します。

子どもさんが自ら進んで申し込むケースよりも親が背中を強く押して申し込んだ子どもさんの方が大きく成長すると言っても過言ではありません。

子どもさんたちが活躍する10年先、20年先の世の中は、私たち大人が想像する以上に大きく変化していると思います。そうした中で、5日間の体験は大いに生きてくると考えます。

未来への投資だと考えて、勧めてください。

【Q.】5日間の旅はどのような様子なのでしょうか？

【A.】第15回おの100の記録映像をダイジェスト版にしましたので、ご覧ください。



※動画が再生されます。
(約6分間のムービーです。)

★NPOおのみち寺子屋の活動について

ホームページなどで情報発信をしていますので、是非、ご覧ください！

【ホームページ】

【Facebook】

【Instagram】

